

【好事例Ⅰ】学校の教育目標の見直しに教職員一人一人が主体的に取り組んだ事例

学校全体で進める「育成を目指す資質・能力を踏まえた学校の教育目標」の見直し
～佐伯市立上堅田小学校の取組～

1.個人

所属するチーム（知徳体）の視点で**児童の伸ばしたい点や課題**を個人用シートに記入

氏名（ ）	知
成果・伸ばしたい点	個人シート（知の例）
課題・改善すべき点	

各種主任がリーダーとなって進行

2.チーム

チーム毎に個人シートを集約し、交流・検討後、チームシートにまとめる

担当（ ○○, ◆◆, △△, … ）	体
成果・伸ばしたい点	チームシート（体の例）
課題・改善すべき点	

3.全体

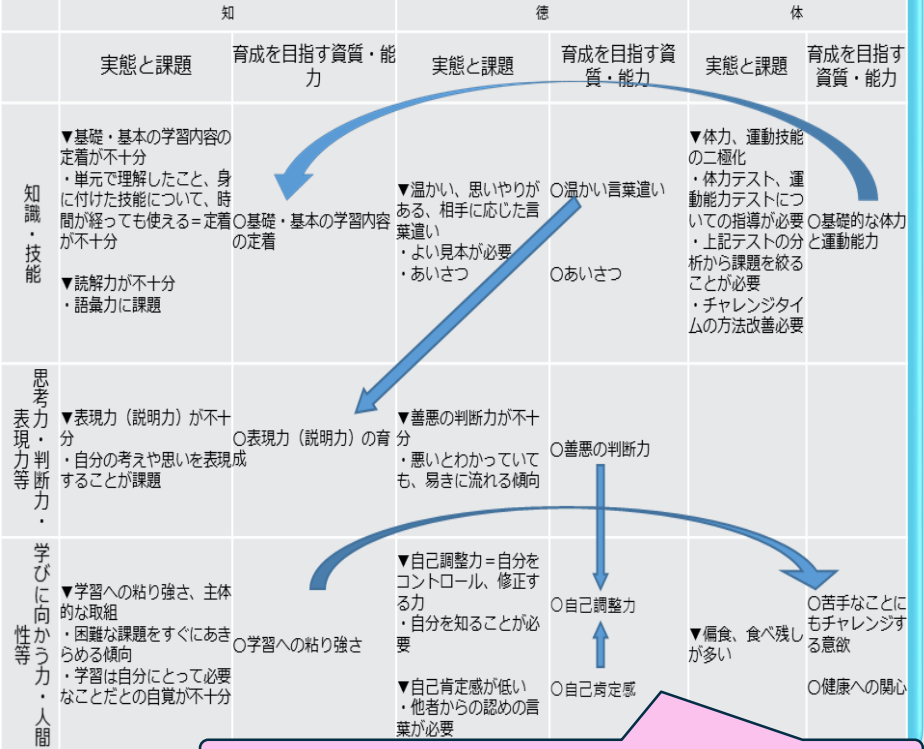
3つのチームシート（知徳体）をチーム合同集約シートにまとめる

	知	徳	体
成果	基礎学力の定着	自己肯定感の醸成	
課題			

チーム合同集約シート

3.全体

資質・能力の三つの柱に沿ってマトリクスに整理・落とし込み



それぞれの資質・能力の関連を矢印で見える化

- ＜目指す子ども像を設定＞
- めあてを持ち、それに向けて粘り強く努力する子
 - 自分や友だちのことを理解し、進んで人とつながる子
 - 基礎・基本の学びを確実に自分の力にする子
- ＜学校の教育目標＞
- 「ふるさとから広がる大きな世界で、輝く未来を創る子どもの育成」
- ＜重点目標＞
- ・基礎・基本の学習内容を確実に定着させる（知識・技能）
 - ・自分の考えや気持ちを言葉で表現する力を育てる（思考力・判断力・表現力）
 - ・自己調整をしながら粘り強く努力する力を育てる（学びに向かう力・人間性等）

第3ステージ「学校評価の4点セット」に落とし込み、全員で共有し、取組へ